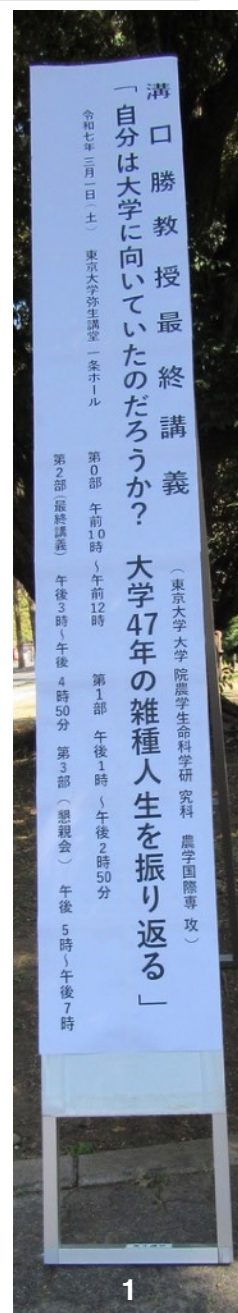


ふくしま

再生 短信

2025年3月1日 溝口勝東大教授最終講義



2025年3月1日、溝口勝教授(東大大学院農学生命科学研究科)の最終講義が行なわれた。農学部正門を入ると度肝を抜く立て看板(写真1)。午前10時から終日六部構成。

第0部「10:00-12:00 Mizo-君Taikanトーク」(30年前から付き合いのあった溝口教授と沖大幹教授との対談を二人を良く知る若手研究者がリード)



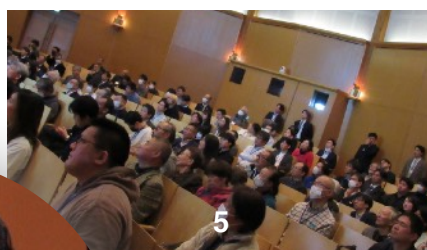
2 研究者がリード。MC: 吉田貢士、新領域創成科学研究科教授・乃田啓吾、農学生命科学研究科准教授(他)

第1部 13:00-14:50 出席者と壇上トーク (卒業生、ゆかりのある知



第2部 15:00-16:50 最終講義「自分は大学に向いていたのだろうか? 大学47年の雑種人生を振り返る」 MC: 荒木徹也、研究室

人など) (MHKのプロジェクトMで【溝口の法則】 Mizo's law の真偽を問う。 MC: みぞらばの現役学生)。



准教授」。次いで第3部「17:00-19:00 懇親会」(会場: 東大農学部弥生講堂 ホール) MC: 荒木徹也、

震災直後の冬に飯館村の水田で凍土剥ぎ取り法を思いついたのは自分が凍土をやっていたからだ。このとき「神様はこの問題を解決させるために今まで僕に関係ないことをさせていたんじゃないか」と思えて体が震えた。放射性セシウムの問題は一人の研究者で解決できる話ではない、わたしの任務は、多くの土壌物理研究者を巻き込みながらこの問題を解決にあたることだと思っ



た。(第2部最終講義)

研究室准教授 第4部「19:00-懇親会二次」 第5部「23:00-懇親会三次会」と展開。記者は午後の第1部、第2部、第3部を取材

夜更へとお楽しみ会は続いた。(撮影と文責・若林一平)



溝口教授よりリンク先情報 最終講義お楽しみ会報告 ハチ公グッズ販売レポート



2025年8月1日、復興農学会誌 第5巻第2号 (2025年7月) が発行されました。

2025年8月19日、土壌物理学国際会議開幕。